

平成 18 年 10 月 2 日

各 位

本社所在地	東京都中野区中央二丁目 9 番 1 号
会社名	健康コーポレーション株式会社
代表者	代表取締役社長 瀬戸 健
コード番号	2928 札幌証券取引所アンビシャス
問合せ先	取締役経営企画部長 佐野 賢一郎
電話番号	03-5348-7572
U R L	http://www.kenkoucorp.co.jp

新商品『黒豆 アイ』発売のお知らせ

当社は、新商品『黒豆 アイ』を、平成 18 年 10 月 2 日より発売いたします。

当商品は、「抗酸化作用」や「視覚改善作用」においてその機能性を高める効果があるとされるポリフェノールを多く含む黒豆に着目し、その種皮から抽出した有効成分によるサプリメントタイプの商品として企画開発したものです。

黒豆の黒い種皮は、現代医学でも注目されているポリフェノールの一種で第 7 栄養素といわれるアントシアニンでできていますが、このアントシアニンは病気の原因の 90% を占めるといわれる活性酸素を抑える働き「抗酸化作用」が非常に高く、また「視覚改善作用」において体感性や即効性にも優れているとされております。

黒豆のものは、シアニジンという種類のもので、特にその機能に優れていることが分かっております。シアニジンを含む植物としては主にブルーベリーが知られておりますが、黒大豆の種皮にはブルーベリーの約 18 倍ものシアニジンが含まれていることから、その視覚改善効果がより期待できる商品となっております。

1. 商品特長

当商品は、目に良いとされているシアニジンの含有量が、ブルーベリーの約 18 倍の黒大豆種皮から抽出された、視覚改善効果が期待できるアイケア訴求のサプリメントタイプの商品です。

シアニジンが含まれている黒大豆アントシアニンには、抗酸化作用に優れていると知られている成分でポリフェノールの一種であり、このアントシアニンは、黒大豆の黒色の素になっており、ブルーベリーと同じ成分のアントシアニジンを含んでいます。アントシアニンから糖を切り離した成分がアントシアニジンで、目に良いとされているのは、このア

ントシアニジンを構成する成分、シアニジン-3-β-D-グルコシド (C3G) です。

黒豆アントシアニンの抗酸化作用でピント調節の働きをする、毛様体の調整力を改善することによりピント調整機能向上になります。よって、視力回復、眼精疲労改善になります。

視力回復、眼精疲労など視覚改善作用のメカニズムについては、添付資料をご参照下さい。

2. 商品概要

- (1) 商品名 : 黒豆アイ
- (2) 発売時期 : 平成 18 年 10 月 2 日 (月)
- (3) 発売地域 : 全国
- (4) 内容量 : 530mg/粒×60 粒 (1 日の目安量 2 粒)
- (5) 販売価格 : 2,980 円 (税込)
- (6) 形態 : 錠剤

本商品に対するお問合せ先 健康コーポレーション株式会社 営業企画部 電話 : 03-5348-6637 FAX : 03-5389-8070

本プレスリリースに対するお問合せ先 健康コーポレーション株式会社 経営企画部 電話 : 03-5348-7572 FAX : 03-5389-8070
--

以上

(添付資料)

視力回復、眼精疲労など視覚改善作用のメカニズムについて

「目に良い」といわれる「アントシアニン」とりわけ「シアニジン」は、目（網膜）の中で光を吸収し、それを分子の構造に情報変換して他の分子に視覚情報を伝えるたんぱく質「ロドプシン」の再合成を促進することが明らかになっている。

眼で物を見る時のメカニズムは、角膜、水晶体を通して入った情報が網膜に映し出されるという仕組みになっている。網膜には視細胞があり、光に反応し、信号化して脳に情報を伝える。この時、脳へ向かう信号が、視細胞のなかに含まれる「ロドプシン」という色素体の分解と再合成であるという。

「ロドプシン」は、光の刺激により、分解し、またすぐに再合成する性質を持つ。しかし、酷使が続くと、その動きが鈍くなってしまう。

「シアニジン」は分子が小さいため吸収もよく、網膜のロドプシンの再合成を早め、視力の回復を促進する。このため、長時間のパソコンや車の運転で目が疲れている方、さらには老化により視力が低下した方でも、視界が広がり、また視力を取り戻せると言われている。

このアントシアニンは、このように視力改善効果の他に酸化物質による脂質酸化抑制作用が注目され、現在ではがん細胞抑制に関する研究が進行しており、また、その他の機能として、毛細血管レベルでの「血流保護作用」の研究が進んでいると言われている。

以上

(ご参考)

「アントシアニン」について

アントシアニン (Anthocyanin) は抗酸化物質として知られるポリフェノールの一種で、アントシアニジン (anthocyanidin) をアグリコンとする配糖体のこと。植物界において広く存在するアントシアン (anthocyan, 果実や花の赤、青、紫を示す水溶性色素の総称) の一種で、高等植物では普遍的な物質であり、花や果実の色の表現に役立っている。

B 環 (構造式右側のベンゼン環部分) のヒドロキシ基の数によりペラルゴジニン、シアニジン、デルフィニジンの 3 系統に分類され、糖鎖の構成により様々な種類がある。B 環上のヒドロキシ基がメトキシ化 (-OCH₃) されているもの (ペオニジン、マルビジン、ペチュニジンなど) も存在する。糖鎖の結合位置は、A 環 (構造式左側の二環構造) の 3 位 (荷電酸素原子から時計回りで数える。B 環結合部位の下) と 5 位 (同じく A 環左半下側) のヒドロキシ基が主である。発色団はアグリコン部分で、ペラルゴジニンは鮮赤色、シアニジンは赤紫色、デルフィニジンは紫赤色。pH により色調は変化し酸性条件下で赤色、アルカリ性条件下で青色となる。また、3 位のみ糖鎖が付いたものよりも 3 位、5 位両方に糖鎖の付いたものの方が濃色となる。

「ロドプシン」について

ロドプシン (Rhodopsin)、別名視紅 (しこう) は脊椎動物の光受容器細胞で発現する色素である。網膜において光受容器細胞の形成と光の認識の初期段階を引き起こす。G タンパク結合受容体に属し、光に敏感で夜間視力はこの物質のおかげで成り立つ。白色光を浴びせると即座に白くなり、ヒトの場合は 30 分で回復する。

ロドプシンは 2 つの部分が可逆的に共有結合して成り立つ。すなわちスコトプシンと呼ばれるオプシントタンパク質と共同因子のレチナール (レチナルデヒド) である。レチナールは網膜でビタミン A から作られる。光による 11-シス-レチナール (11-cis-retinal) からオールトランスレチナール (all-trans-retinal) への異性化でオプシンは構造変化を起こすことで結合する G タンパク質を活性化しセカンドメッセンジャーカスケードを引き起こす。

桿状体にあるロドプシンは緑青色の光を最も吸収するので赤紫色に見えるのが視紅と呼ばれる所以である。そのために暗所での視界はモノクロに見える。

これと近縁なオプシンに、アミノ酸がわずかだけ異なっており最も吸収する波長の違うフォトプシン (photopsin) というグループが存在する。これらの色素は網膜の異なるタイプの錐状体に見られ、色覚の元となる。ヒトはロドプシンと他に最大吸収波長が黄緑 (photopsin I)、緑 (photopsin II)、青紫 (photopsin III) の 3 つのオプシンを持つ。

古細菌の中には光合成を引き起こすバクテリオロドプシンと呼ばれるプロトンポンプを発現するものがある。ロドプシンと同様に、バクテリオロドプシンもレチナールを持ち、7 つの膜貫通 α ヘリックスを持つが G タンパクとは結合しない。また藻類は独自の光ゲートイオンチャンネルを含んだチャンネルロドプシン 2 と呼ばれるオプシンを持つことが知られている。